2024年 7月号

科学館友の会通信

科学館友の会にご入会いただき，ありがとうございます。

友の会通信では，研修会の報告や科学館からのお知らせなど，さまざまな情報をお届けします。今月号は第１回から4回までの研修会の様子と，科学館特別展についてのお知らせです。

― 令和６年度　活動報告　Part Ⅰ ―

第1回研修会　4月14日（日）「電磁気を利用した科学工作教室」　参加者：２５名

友の会役員の川越清志先生に講師をしていただき，「電磁気を利用した科学工作教室」を開催しました。乾電池と磁石，ナット，銅線を使ったモーター作りを行い，銅線の折り曲げ方を微調整し，きれいに回転すると喜びの声が聞こえました。また，Drawdio という機器を使い，紙に鉛筆で書いた線を回路の一部として音を出し，書いた線の濃さや触れる位置，距離などによって音程が変わると，驚きの声も聞こえました。参加された皆さんは，科学工作を通して電磁気について楽しく学ぶことができた研修会となりました。

第２回研修会　５月１８日（日）「自然観察会～焼河原の化石～」　参加者：２０名

泉区西田中焼河原にて，「自然観察会～焼河原の化石～」を開催しました。講師は友の会役員の佐藤正道先生です。始めに広瀬川凝灰岩部層の高温型石英を観察しました。次に，地層の変化をたどりながら上流に向かい，竜の口層の化石採集を行いました。川の水量も少なく，採集場所への移動や採集が行いやすい日でした。参加者のみなさんはハマグリやホタテの化石を見つけて，一生懸命に掘り進めました。最後の母岩を標本にするためのクリーニング方法などについての説明に皆さん真剣に聞き入っていました。

第３回研修会　6月９日（日）「ドローンを使ったプログラミング教室」　参加者：15名

特別展示室で「ドローンを使ったプログラミング教室」を開催しました。講師は友の会会長の日下孝先生と顧問の岩本正敏先生です。お二人は長年，科学館で開催するロボット教室やプログラミング教室の講師として活躍なさっています。今回は，スクラッチというプログラミング言語を使い，ドローンを飛ばしました。ドローンは飛行パターンを入力することで，人の手が離れた後は自律して飛び回ります。離陸、着陸はもとより障害物を避けて飛行するプログラミングに挑戦する参加者は試行錯誤しながらも楽しんで研修会に取り組んでいました。

第４回研修会６月１５日（土）「ロボットプログラミング教室」　　参加者：５名

友の会顧問の岩本正敏先生に講師をしていただき，「ロボットプログラミング教室」を開催しました。研修会の前半には，ロボットの仕組や機構をヒトの体に例えながら分かりやすく説明していただきました。後半には，自分でプログラミングをした「梵天丸」を実際に動かしてみました。イメージ通りに動く様子に，参加したお子さんは目を輝かせていました。また，それぞれがプログラミングをした梵天丸を５台並べて動かすと，まるでフォーメーションを組んだ隊列のように動いており，保護者の方からは「この前見たブルーインパルスみたい」という声も聞かれました。ロボットに関する最先端の活用事例などの話もあり，楽しみながらも学びの深い研修会となりました。

科学館から特別展のお知らせ

今年の夏は，特別展「恐竜最前線２０２４　～奇跡の恐竜カムイサウルス～」を開催します。ぜひご来場ください！

奇跡の大発見と称される，北海道むかわ町穂別で発見されたカムイサウルスの生きた時代とその世界をテーマに，”東北初公開”となるカムイサウルス全身骨格や同じ時代の化石標本，等身大の生体復元を展示・紹介します。様々な体験や最新の恐竜研究のパネル展示，映像展示を通して，白亜紀の生態系について楽しく学べる場を提供します。

◆開催期間：7/20（土）～8/25（日）　　休 館 日：7/22（月）・7/29（月）・8/5（月）・8/19（月）

◆料　　金：一般・大学生 1,000 円，高校生 600 円，小・中学生 300 円

◎小・中学生はどこでもパスポート提示で無料。　◎大人の方は友の会会員証の提示で半額。

◆会　　場：スリーエム仙台市科学館 ２階特別展示室　他

「恐竜最前線 2024 講演会」　　１階　市民の理科室にて開催

講演会①「奇跡の恐竜カムイサウルスの発見！～恐竜研究最前線～」
日時：7/27（土）　11:00～11:45
講師：北海道大学総合博物館　**小林 快次** 氏
対象：どなたでも
定員：80 席（事前申込み必要・抽選）

講演会②「恐竜は鳴く？～恐竜研究最前線～」
日時：8/3（土）　11:00～11:45
講師：福島県立博物館　**吉田 純輝** 氏
対象：どなたでも
定員：先着 80 名（事前申込み不要）

講演会①，講演会②のどちらも，友の会会員優先席 10 席を確保しています！

【優先席 お申込み方法】

必要事項を記載し，下記の方法でお申し込みください。
必要事項：①講演会名　②会員番号と氏名　③当日連絡のとれる電話番号
・Ｅメールによる申込み：tomonokai@kagakukan.sendai-c.ed.jp　特別展講演会担当　宛

応募締切　　講演会①，②ともに　７月１９日（金）必着
※参加希望者が定員を超えた場合，抽選となります。
※講演会①の一般申込みは，７月５日（金）より開始します。

2025年 3月号

科学館友の会通信

友の会通信では、研修会の報告や科学館からのお知らせなど、さまざまな情報をお届けします。今回は第5回から8回までの研修会の様子と、今後の行事予定についてのお知らせです。

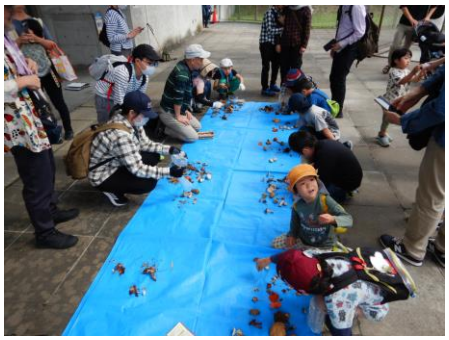
― 令和６年度　活動報告　PartⅡ ―

第5回研修会　９月15日（日）『鳥人間コンテスト強豪チーム「東北大学ウインドノーツ」の秘密に迫る！～大会出場機体に搭乗してみよう！～』　参加者：２０名

第４６回鳥人間コンテスト２０２４で見事優勝を果たした「東北大学ウインドノーツ」のサポーターであり，友の会の役員でもある中澤堅一郎先生に講師を務めていただき研修会を行いました。人力プロペラ機の構造や翼に揚力がはたらく仕組みについて，実験を交えながら分かりやすく説明をしていただきました。また研修会の最後には，コンテストで実際に使用したコックピットへの搭乗体験も行いました。当日は，ウインドノーツ所属の学生にも運営補助として多数参加していただき，大盛況の研修会となりました。

第6回研修会　９月29日（日）『キノコを探して』参加者：２１名

今回の研修はきのこ展の開催日に合わせて実施しました。当日は，爽やかな秋晴れの中，開催することができました。講師は仙台キノコ同好会の木村栄一先生他同好会員１名で，台原森林公園を会場に実施しました。公園内の散策路へと入っていき，散策路脇に見られるキノコを観察しながら進みました。見られたキノコについて，詳しく解説していただきながら散策することができました。猛暑の影響で秋キノコの数が少なく，夏キノコが多く見られました。十数種類のキノコを見ることができました。



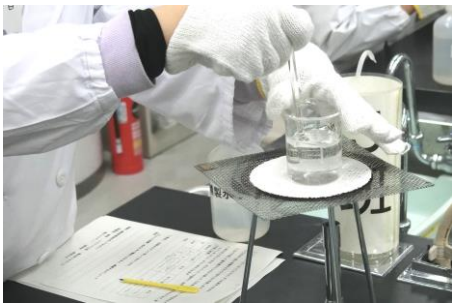
※続きは裏面で紹介いたします。

第7回研修会　１１月２４日（日）『化石採集会～旗立層』参加者：26名

名取川河川敷（太白区富田）を会場に，化石採集会を実施しました。講師は，元科学館職員の西城光洋先生にお願いしました。今回の採集地は，約1300～300万年前の地層が，順番に顔を出している場所です。はじめに地層の説明を聞いた後，いよいよ採集の始まりです。川底からの化石採集だったため，川の水に悪戦苦闘しながらの活動になりましたが，皆さんばっちり準備をしてきて下さったので，時間いっぱいまで活動を楽しむことができました。今回の採集会では，貝化石や腕足類の化石などを採集することができました。好天に恵まれた化石採集会となりました。

第8回研修会　1月２５日（土）『台所の調味料でできること』参加者：21名

今回は台所にある調味料を使った実験を５つ行いました。講師は元科学館職員の永沼孝敏先生です。実験1では砂糖と食塩ではどちらがより水にとけやすいかを調べました。砂糖のとける量が予想をはるかに上回りとても驚いていました。実験2では，調味料や食材を使って電池を作りました。マグネシウムと銅の板を電子メロディーにつなぎ，味噌やしょう油など，様々な試料で電池ができるか調べました。特に，魚肉ソーセージや絹豆腐，大根で音がなったことに驚きの声があがっていました。実験4では，カレー粉（ターメリック）を使って絞り染めをしました。木綿のハンカチを輪ゴムやビー玉を使ってオリジナル模様の絞り染めを作りました。その他には食塩水を使った電池づくり（実験３）やベビーオイルを使った二色液体ビンを作りました（実験５）。たくさん実験ができて充実した研修会となりました。



●科学館友の会　今後の行事予定●

第２回役員会　令和７年３月９日（日）13：30～15：00　　科学館2階　会議室

【友の会継続手続き開始】新年度の継続手続きを3月１日より開始いたします。新年度もご入会のほどよろしくお願いいたします。新年度の予定は随時科学館ホームページに掲載しますので，ご覧ください。